

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2003年8月12日

2003年8月10日現在：

8月10日に終わる週では、各地に降水がり多少気温が下がった。最高気温は北中央地区では88～94度F、北東地区では90～99度Fと平年より高い温度を示した。1週間の州平均農作業日数は、6.6日（前週：7.0日）であった。Topsoil並びにSub soilの水分は、更に悪化した。

春小麦は急速に完熟し、8月10日現在全州の21%の春小麦が収穫された（昨年：11%、平年：19%）。93%が登熟期以降にある春小麦の作柄評価は更に悪化した。イナゴの被害が深刻化している。

冬小麦は、全体の97%が完熟し、79%が収穫された。昨年及び平年より極めて早い進展となった。雹と高温の被害が出、単位収量が圃場毎で大きな振れが出ている。これ迄の収穫では、容積中は昨年より高目であり60.8～65.0lb/bu、蛋白質（水分12%ベース）は昨年より平均で2%近く低く、11.6～15.0%と報告された。

8月1日付けUSDAの冬小麦収穫量予想では、単位収量は7月1日予想から変化が無かったが、春小麦の予想では5.0bu/acre減少し、24.0bu/acreなった。7月の高温・乾燥が単位収量を落とす結果となった。

土壌水分状況：

	This week	Last week	Last year	5-year Avg.
Topsoil (%)				
Very short	70	61	25	27
Short	27	34	30	41
Adequate	3	5	40	31
Surplus	0	0	5	1
Subsoil (%)				
Very short	61	54	44	33
Short	34	40	34	41
Adequate	5	6	21	26
Surplus	0	0	1	0

冬小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-year Ave.
Ripe (%)	97	94	84	92
Harvested (%)	79	67	47	68

春小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-year Ave.
Turning (%)	93	84	82	90
Ripe (%)	49	33	31	42
Harvested (%)	21	12	11	19

次頁へ続く：

春小麦作柄状況：

	This week	Last week	Last year	5-year Ave.
Very poor (%)	14	11	7	10
Poor (%)	31	27	20	16
Fair (%)	35	36	44	35
Good (%)	18	24	23	30
Excellent (%)	2	2	6	9

Source: Montana Agricultural Statistics Service

モンタナ州小麦作付面積：USDA2003年3月1日発表

冬小麦の作付け増加と破棄圃場の減少見込みより、春小麦（HRS）の播種面積は減少すると見込まれた。

	Area Planted 1000 acres			
	2001 Crop	2002 Crop	2003 Crop	2003/2002
Winter wheat	1,300	1,450	1,850	128%
Durum wheat	510	590	600	102%
HRS wheat	3,550	3,750	3,100	83%

8月1日付け農務省発表冬、デュラム、硬質赤色春（HRS）小麦生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				July 1	Aug 1		
Winter	750	1,750	28.0	37.0	37.0	21,000	64,750
Durum	565	640	23.0	29.0	25.0	12,995	16,000
HRS	3,450	2,800	22.0	29.0	24.0	75,900	67,200

当該作柄レポートに関するご質問、お問い合わせは下記宛てにお願い致します。

小川正晃：E-mail ogawa.max@omicnet.com